

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科昼間部		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法		講義	
科 目 名	生物学・遺伝学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15	(1) 時間(単位)	
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時限	前期 金曜2限	教室名	第4校舎301		
担 当 教 員	重松	実務経験と その関連資格						
《授業科目における学習内容》								
医療従事者に必要である基礎的な生物学の知識を習得することを目標とする。生命の単位としての細胞の構造と機能、個体の構成と機能、生体防御機能、ヒトの生殖・配偶子形成、ヒトの遺伝を中心としたメンデルの法則と遺伝情報の働き、ヒトの染色体と遺伝子および遺伝様式・関連疾患を学ぶ。								
《成績評価の方法と基準》								
学期末テスト(筆記試験)において60%以上の得点をもって合格とする。								
《使用教材(教科書)及び参考図書》								
配布プリントおよびパワーポイント資料								
《授業外における学習方法》								
配布資料の反復学習、解剖学など体の仕組みに関する関連科目とのすり合わせを行うこと。								
《履修に当たっての留意点》								
解剖学など体の仕組みに関する関連科目とのすり合わせを行い、理解度を上げること。								
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容			
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	遺伝子の構造とはたらきについて理解し説明する。	パワーポイント資料 配布プリント				
		各コマにおける授業予定	遺伝子の構造とはたらきについて学ぶ。					
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	染色体について理解し説明する。	パワーポイント資料 配布プリント	前回の授業資料の復習 をしておくこと			
		各コマにおける授業予定	染色体について学ぶ。					
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	遺伝子疾患について理解し説明する。	パワーポイント資料 配布プリント	前回の授業資料の復習 をしておくこと			
		各コマにおける授業予定	遺伝子疾患について学ぶ。					
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	生命の単位としての細胞の構造と機能について理解し説明する。	パワーポイント資料 配布プリント	解剖学の復習を行って おくこと			
		各コマにおける授業予定	生命の単位としての細胞の構造と機能					
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	個体の構成と機能について理解し説明する。	パワーポイント資料 配布プリント	前回の授業資料の復習 をしておくこと			
		各コマにおける授業予定	個体の構成と機能					

授業の方法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標 生体防御機能について理解し説明する。	パワーポイント資料 配布プリント	前回の授業資料の復習 をしておくこと
		各コマにおける授業予定 生体防御機能		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標 ヒトの生殖・配偶子形成について理解し説明する。	パワーポイント資料 配布プリント	前回の授業資料の復習 をしておくこと
		各コマにおける授業予定 ヒトの生殖・配偶子形成		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標 これまでの授業内容を振り返り、学びを深める。	パワーポイント資料 配布プリント	前回の授業資料の復習 をしておくこと
		各コマにおける授業予定 これまでの授業内容の総合演習		
第9回		授業を通じての到達目標		
		各コマにおける授業予定		
第10回		授業を通じての到達目標		
		各コマにおける授業予定		
第11回		授業を通じての到達目標		
		各コマにおける授業予定		
第12回		授業を通じての到達目標		
		各コマにおける授業予定		
第13回		授業を通じての到達目標		
		各コマにおける授業予定		
第14回		授業を通じての到達目標		
		各コマにおける授業予定		
第15回		授業を通じての到達目標		
		各コマにおける授業予定		